



2026年7月27日

各 位

会 社 名 ア ゼ ア ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 斉 藤 文 明
(コード番号：3161 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長 鈴木 一 裕
(TEL. 03-3865-1311)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2023年5月から2026年4月までの中期経営計画「Next Stage 実行計画 2023」に続き、2026年5月から2029年4月までを計画期間とする、新たな中期経営計画「Next Stage 実行計画 2026」を策定し、スタートいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景について

新たな中期経営計画「Next Stage 実行計画 2026」の初年度である2026年は、地政学リスクが従来以上に高まり、国際紛争により人命や人権が脅かされ、環境面では、引き続き、猛暑や豪雨等極端な気象現象、地震等の災害発生が懸念されています。また、少子化、人口減少社会が進行するとともに、労働安全分野では規制強化が進み、人材を大切に考える考え方が広く浸透してきました。現在のように不確実性が高く、予測が困難な社会では、変化への対応能力が問われると同時に、安全・安心への関心や投資機会も多くなると予想されます。

当社としても、安全・環境分野における存在意義を高め、社会や顧客の課題にしっかり向き合い貢献するため、前中期経営計画「Next Stage 実行計画 2023」で、業績面での成長に寄与できなかった点を重点課題と認識し、その取り組みを着実に進めることで、社会や顧客の期待に応える新たな中期経営計画「Next Stage 実行計画 2026」を策定いたしました。

2. 中期経営計画の基本方針

- ① 「人と環境を守る」事業を強化し、安全な社会実現へ貢献する
- ② アゼアスブランド強化とDXによる顧客の課題解決力の向上
- ③ 魅力のある企業集団を作り、ステークホルダーから選ばれる企業となる

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

中期経営計画 「Next Stage 実行計画2026」 (2026年5月1日～2029年4月30日)

地球のこと総て、その環境と安全に挑戦する。
The Challenge for The Earth:“Environment & Safety”



2026年7月27日

目 次

1. 中期経営計画2023～2025振り返り 3～14ページ
2. 新中期経営計画2026～2028 15～34ページ

1. 中期経営計画

2023～2025振り返り

中期経営計画2023～2025振り返り

■ 中期経営方針

1. 「人と環境を守る」事業を強化し、
安全な社会実現へ貢献する
2. 商社からメーカーへ、
企業構造改革を進める
3. 魅力のある企業集団を作り、
ステークホルダーから選ばれる企業となる

中期経営計画2023～2025振り返り

1. 「人と環境を守る」事業を強化し、安全な社会実現へ貢献する

項目	実施内容
化学防護服分野	・化学物質の規制強化(2024年4月)や熱中症対策義務化(2025年6月)、家畜感染症の発生等の対する適切な製品の供給や、「防護服の知恵.com」による情報提供力の強化を実行
ヘルスケア事業	・ヘルスケア製品事業化 医療機関やクリーン分野において、作業者の安全を図るため、不織布マスクをはじめ、ガウン、手袋等個人用保護具等の感染対策製品の新規顧客開拓を強化
マスク生産体制	・国内製造拠点であるアゼアスデザインセンター秋田において、不織布マスクの生産体制の構築しJIS T9001規格適合の高機能マスク量産体制を構築
新規防護服分野	・作業環境リスクの低減を目的とした難燃素材の防護服をはじめ、耐アークフラッシュ防護服、高視認性防護服等の新領域防護服分野の営業活動を強化
安全環境設備	・アスベスト等有害な粉じん環境を改善するための負圧集じん装置やエアシャワーや、感染症対策としてHEPAフィルター付き陰圧装置を開発し、新規顧客開拓を強化

中期経営計画2023～2025振り返り

2. 商社からメーカーへ、企業構造改革を進める

項目	実施内容
開発力	・新たに開発部門を設置し、新製品開発の取組を強化 アゼアスブランド製品の開発に加え、OEM製品、別注製品の受注も拡大
開発力	・2022年4月に開設した「アゼアス 防護服 Labo」(信州大学Fii内)において、新素材開発をはじめ JIS規格防護服の第三者認証取得、薬品耐透過性試験等を実施
品質管理	・新たに品質管理部門を設置し、アゼアスブランド製品の品質管理体制を構築
技術力	・アゼアスデザインセンター秋田の技術力向上のため、生産設備投資を推進し、高機能製品の生産と 増産体制構築
人材育成	・ISO9001をはじめとする様々な研修や、製品開発、品質管理、生産の実務を通じ、メーカー としての考え方の定着を推進

中期経営計画2023～2025振り返り

3. 魅力のある企業集団を作り、 ステークホルダーから選ばれる企業となる

項目	実施内容
組 織	・中国子会社の収益力改善に向け、上海子会社清算、合理化推進 ・連結子会社の丸幸株式会社を合併し、組織運営を一体化 ・ベトナム現地法人を設立し、海外事業の強化とサプライチェーン多様化取り組み着手
人材投資	・育成、早期戦力化に向けた導入済み新人事制度のブラッシュアップ ・次世代人材登用にに向けた、役職制度の見直し ・成果と職責が反映され、社会環境を踏まえた報酬制度への改正
人材投資	・シニア社員による後進の育成促進を目的とした定年再雇用制度の見直し ・従業員持株会制度における特別奨励金支給と奨励金率アップ(10.0%)
設備投資	・アゼアスデザインセンター秋田 化学防護服をはじめ、難燃、高視認防護服、高機能マスク生産に向けた生産設備投資実施 ・生産性向上に向けた新基幹システムの導入(2025年5月)
株主還元	・安定した株主還元(期末配当)実施 1株当たり23.0円(配当性向67.3%～96.9%、DOE2.0%水準、2026年4月期配当は予定)

中期経営計画2023～2025振り返り

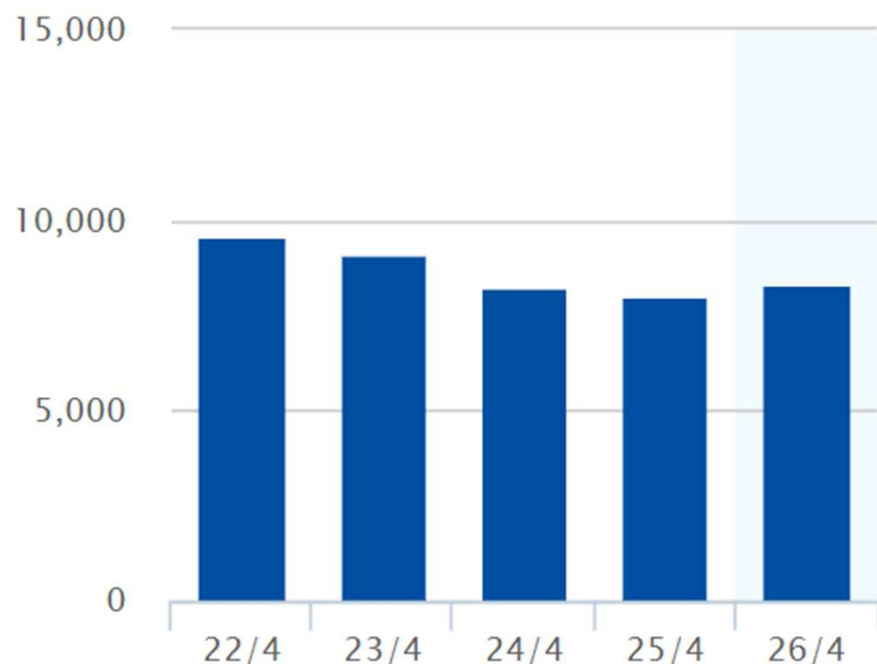
- ・メーカー機能の強化、新しいヘルスケア製品事業の本格的な展開、防護服・環境資機材事業の新領域開拓など、新たな取り組みに注力したが、業績の回復が遅れ、反省点の多い中期経営実績となった。

(単位:百万円)

実 績	項 目	中期経営目標 (当初計画)	2026年4月期 実績
	売 上 高	12,000	8,289
	経 常 利 益	880	214
	ROA(連結)	8.4%	2.5%
	ROE(連結)	8.0%	2.0%

中期経営計画2023～2025振り返り

売上高 (百万円)



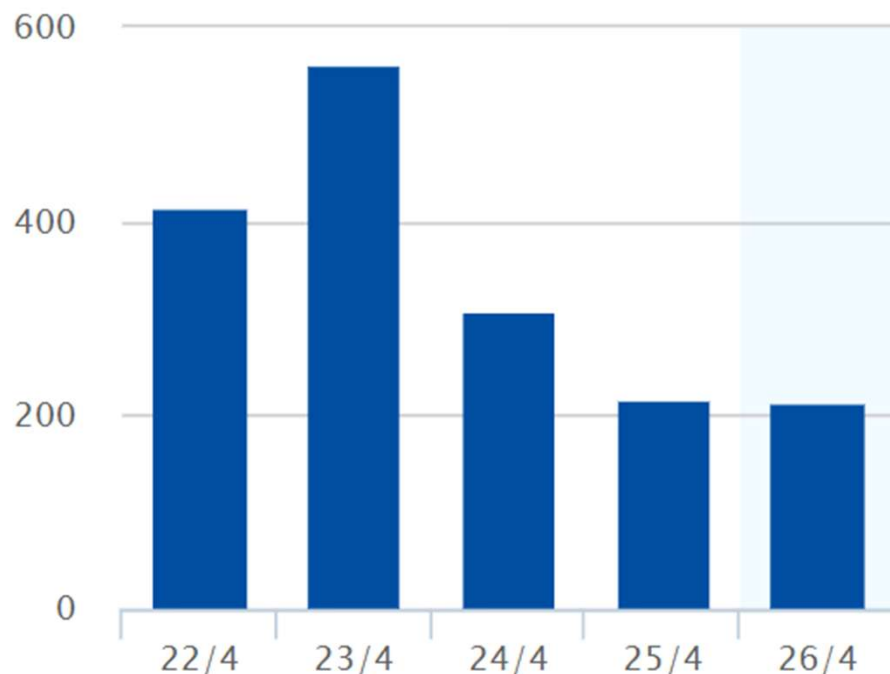
	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
通期	9,545	9,081	8,242	8,027	8,289

- この中期経営計画期は、新事業分野への積極的な投資を進めたものの、反省点の多い業績
- 新型コロナウイルス感染症後、中国子会社と機能性建材事業の収益力が大きく低下
- 2026年4月期は、防護服事業、ヘルスケア製品事業の売上成長により、減収傾向から脱却

中期経営計画2023～2025振り返り

経常利益

(百万円)



	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
通期	414	562	308	217	214

- ・デザインセンター秋田の生産設備や新基幹システム導入等の投資、優秀な人材確保のための継続的な賃上げ実行により、販売管理費は増加傾向が続き、経常利益確保に苦戦
- ・新中期経営計画では、経常利益率5.0%を目標とし、売上成長と収益性向上の両面を追求

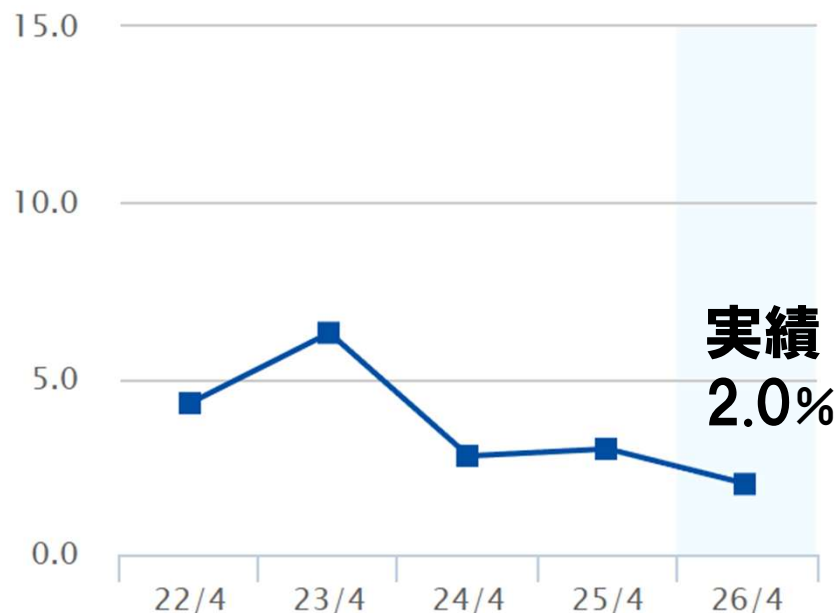
中期経営計画2023～2025振り返り

ROE 中期経営目標 8.0%
(当初計画)

ROA 中期経営目標 8.4%
(当初計画)

自己資本当期純利益率

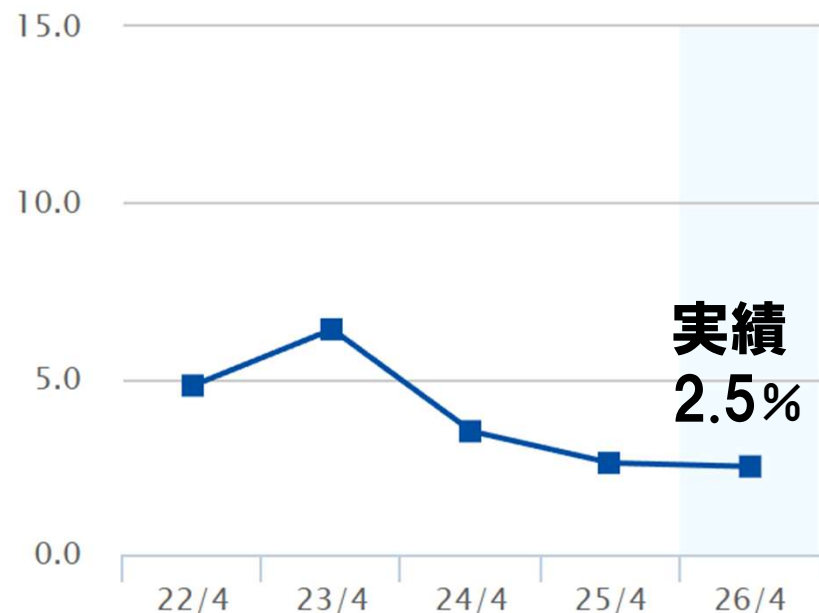
(%)



	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
通期	4.3	6.3	2.8	3.0	2.0

総資産経常利益率

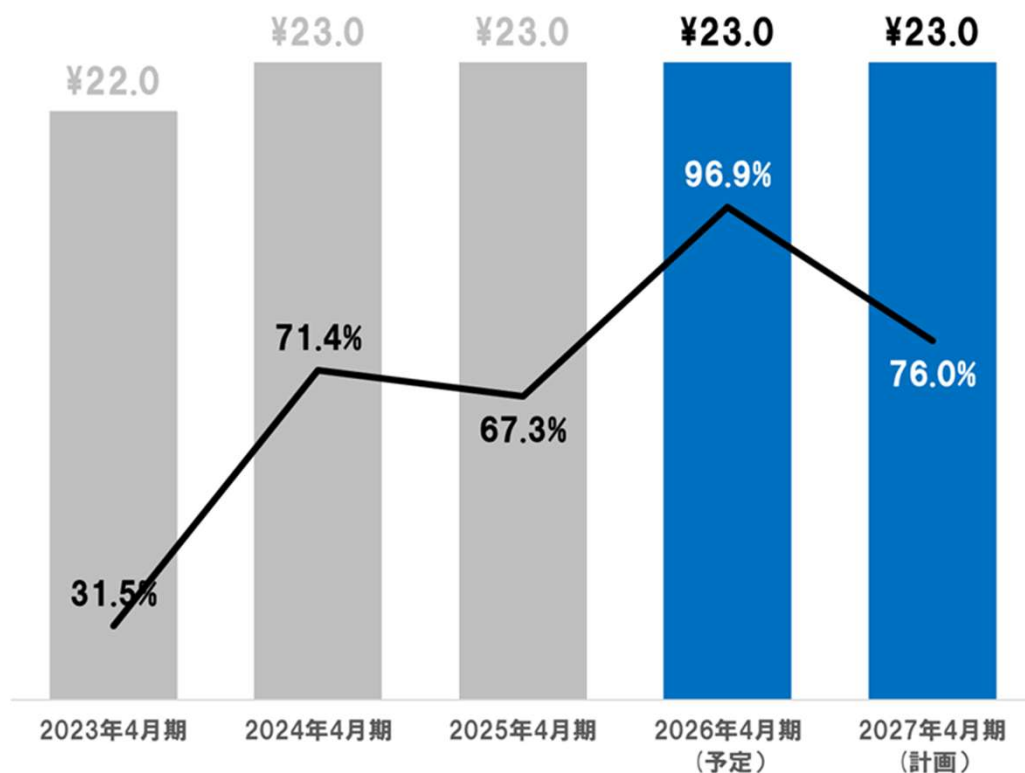
(%)



	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
通期	4.8	6.4	3.5	2.6	2.5

中期経営計画2023～2025振り返り

1株当たり配当金(円)と配当性向



■ 株主還元の基本方針

- ・継続的かつ安定的な配当を実施
- ・株主還元性向 30～40%
- ・純資産配当率、経営環境等も踏まえ総合的に判断

1株当たり配当額

- ・2026/4期:23円予定
- ・2027/4期:23円計画

中期経営計画2023～2025振り返り

■ 成 果

- **新たな取り組みの推進と今後の事業基盤の確立**
ビジネスモデルの転換と事業基盤の確立という中長期的な見地からは、成長戦略として、メーカー機能の強化、新しいヘルスケア製品事業の本格展開、ベトナム現地法人の設立など新たな取り組みを推進し、次につながる足掛かりを整備
- **経営合理化施策の実施**
連結子会社 丸幸(株)の吸収合併、上海現地法人の清算や基幹システムの刷新など経営効率向上につながる施策や合理化策も並行して実施
- **人的資本経営の推進**
人材の育成や早期戦力化を目的として、目標管理制度、報酬制度や、定年再雇用制度の見直し、人的資本経営の継続的な高度化にも注力

中期経営計画2023～2025振り返り

■ 課題(新中期計画の重点課題)

・成長戦略による業績回復

安全事業への投資とメーカー機能強化による成長を計画したが、業績回復の実現はできていない。新中期計画においては、安全事業の一層の投資を実行し、売上の成長×収益性向上策により業績回復へつなげる方針

・株価向上への対策

株価の向上、PBR1倍割れへの対応が喫緊の課題となり、業績回復の実行と共に、IR活動強化と株主還元／配当の見直しを進める方針

2. 新中期経営計画

2026～2028

中期経営計画2026～2028

- ・ 防護服環境資機材事業の新分野(新規防護服、安全環境設備)とヘルスケア製品事業への投資を進めて売上の成長を目指すと共に、アゼアスブランド製品の強化による収益性の向上を図る方針。

(単位:百万円)

計 画	項 目	中期経営目標 (2029年4月期)	2026年4月期 実績
	売 上 高	9,500	8,289
	経 常 利 益 (経常利益率)	475 (5.0%)	214 (2.6%)
	ROA(連結)	5.7%	2.5%
	ROE(連結)	4.8%	2.0%

中期経営計画2026～2028

■ 中期経営方針

- ① 「人と環境を守る」事業を強化し、
安全な社会実現へ貢献する
- ② アゼアスブランド強化とDXによる
顧客の課題解決力の向上
- ③ 魅力のある企業集団を作り、
ステークホルダーから選ばれる企業となる

安全・防護システムで 人と環境を守る

1. 有害化学物質から人と環境を守る
2. 感染症から人と社会を守る
3. 作業環境リスクから人を守る

事業環境トピックス

政治【Politics】

- ・中東情勢の不安定化
サプライチェーンの混乱
- ・米国関税政策の影響
自動車等国内製造業への弊害
- ・化学物質の自律的管理 2024.4月

社会【Society】

- ・人口減少、少子化
人材の重要性、安全への投資拡大
- ・異常気象(猛暑、暖冬)
暑熱対策製品市場の拡大
熱中症対策義務化 2025.6月

経済【Economy】

- ・国内半導体設備投資の増加
クリーン分野の防護服やマスク等
需要拡大
- ・為替動向 円安水準継続
仕入れコストの増加

技術【Technology】

- ・インフラの老朽化
橋梁の長寿命化等、老朽化インフラ
の改修需要拡大
- ・AI関連のデータセンター、風力発電、
EV等の新産業拡大

事業成長戦略について

安全関連の新事業投資による売上拡大

- 防護服・環境資機材事業の内、新規防護服と安全環境設備の2つの分野とヘルスケア製品事業の自律的な成長
- M & A、提携強化による事業成長



メーカー機能強化による利益率向上

- 開発力を高め、アゼアスブランド製品の売上比率を高めることにより、売上総利益の成長につなげる

事業方針について

化学防護服分野

- ・化学物質規制強化(2024.4月)
- ・半導体等クリーン分野
- ・橋梁長寿命化対策(インフラ老朽化)



新規防護服分野

作業環境リスクの低減

- ・難燃、耐アークフラッシュ防護服
- ・高視認性防護服



**労働災害や
健康被害の防止**

新事業分野

新事業分野

ヘルスケア製品事業

医療機関やクリーン分野の安全

- ・不織布マスク(日本製、海外製)
- ・ガウン、手袋等個人用保護具
- ・感染対策製品



新事業分野

安全環境設備分野

安全な作業環境づくり

- ・負圧集じん装置(アスベスト、ダイオキシン)
- ・HEPAフィルター付き陰圧装置(感染対策)



「人と環境を守る」事業の強化

化学防護服分野における、今後の成長市場

①化学物質対策

「新たな化学物質規制」への対応



②半導体等クリーン分野

国内への工場等設備投資が加速
防護服・ヘルスケア両事業で営業強化



③橋梁長寿命化対策

インフラの老朽化による
橋梁補修工事の需要増加
塗膜に含まれる有害物質対策



「人と環境を守る」事業の強化

高い専門性が求められる分野のソリューションを強化

■ 化学物質対策（化学物質による労働災害の防止）

- ・ 2024年4月に施行された労働安全衛生法施行令の一部改正による「新たな化学物質規制」に対応し、情報総合サイト「防護服の知恵.com」コンテンツ拡充を含め、作業者の有害物質ばく露管理について安全衛生保護具をトータル提案
- ・ 最近の開発実績：乾的除染収納袋ホタテ、化学防護手袋ケミカルグローブ CG100等、引き続き新製品開発にも注力

防護服の知恵.com

Powered By  アゼアス株式会社



「人と環境を守る」事業の強化

■ 暑熱対策

2025年6月 職場の熱中症対策義務化

暑熱対策商品として、独自素材を用いた
汚れ防止用途の使い切り空調服やアスベスト
除去作業等で使用可能な新製品を上市



「人と環境を守る」事業の強化

■ 防護服の新領域開拓

アークフラッシュ防護服

国内でデータセンターや風力発電等の設備投資が進む中、アークフラッシュ対策として、防護服の採用が増加していく見通し。日本国内の企業や作業者のリスク認識を高める啓発活動を含め、重点分野として取り組む方針。

＊アークフラッシュとは、短絡または地絡により、主として突発的に発生する事故による大きなエネルギーの放射（プラズマ）を指す。高温の熱放射のほか、溶融金属の飛散、聴覚・視覚への影響など大きなリスクがある。



アークフラッシュ
防護服

「人と環境を守る」事業の強化

■ ヘルスケア製品事業

アゼアスデザインセンター秋田製の、JIS T 9001規格の高性能マスクを中心に、海外製マスクやガウン等PPE製品も含めラインナップ強化。
一般消費者向け(BtoC)に加え、医療機関や半導体、製薬等一般産業分野向け(BtoB)の新規顧客開拓に集中し、次の主力事業へ育てる方針。

感染症対策 簡易キット HK-50022



「人と環境を守る」事業の強化

■ ヘルスケア製品事業

主力事業へ向けた取り組み

■主力のマスク製品については、OEM受託の拡大や機能性を追求した新製品を順次提案。

ドラッグストア、大手ECサイト等の一般消費者向けのBtoC分野と、医療機関や国内工場新設等が続く半導体、製薬等 一般産業分野向けBtoB分野双方の新規顧客開拓を実行中

■マスク製品は、一般消費者(家庭用)、産業用(企業用)双方で需要のすそ野が広く、需要は安定。一方、様々な課題を抱えている実態もあり、素材、デザイン、機能面で付加価値のある製品を提供していく方針。

「人と環境を守る」事業の強化

アゼアスデザインセンター秋田の機能強化

■ 防護服、マスクの開発、技術力向上に向けた人材育成と設備投資

■ 防護服：技術力向上と自動化を促進し、高レベル対応化学防護服、布帛製品（難燃防護服、高視認性防護服）の生産を拡大。

■ マスク：高機能JIS規格製品の開発、増産体制の構築。



「人と環境を守る」事業の強化

■ 海外子会社

2026年1月 アゼアス ベトナム設立
AZEARTH VIETNAM CO., LTD.

ユニフォーム業界におけるベトナムへ製造拠点を移す企業の増加を受け、サプライチェーンの多様化に取り組み、現地において日本品質のアパレル資材の調達、供給、製品開発を進めるとともに、ベトナム国内での需要への対応や、東南アジアでのビジネスを見据えた拠点の拡充を図る。
ライフマテリアル事業に加え、防護服・環境資機材事業の海外機能として活用する計画。

中期経営計画2026～2028

■主な投資計画

・生産設備投資

メーカー機能強化方針に基づき、アゼアスデザインセンター秋田において、より付加価値の高い製品づくりや生産性を高めるための設備投資

・M & A、提携

企業価値向上と成長加速させるために、引き続きM & A、提携等を積極的に検討していく方針

・人材投資

次世代人材をはじめ、優秀な人材の確保のため、人事制度や報酬制度等へのさらなる投資を計画

・職場環境整備

老朽化施設の更新など、職場環境整備の投資

・新基幹システム

生産性向上を図るため、新基幹システムの改善計画

株価向上に対する施策

■ 中期経営計画の着実な実行による業績の向上

- ・収益力の強化／メーカー機能強化のほか、成長分野への経営資源の集中により一層の収益構造改革を加速
- ・DX活用やブランド強化等の等の施策実行による、売上拡大に重点を置いた成長／売上拡大を通じて成長シナリオを示す
- ・人的資本強化による、企業活性化と生産性向上

■ 説明会及びIR情報の充実

- ・成長シナリオを伝えるコミュニケーションと広報活動の強化
- ・非財務情報も含めたIR情報の充実に推進

■ 配当額の引き上げ

- ・構造改革を通じて収益力強化を図るとともに、更なる企業価値向上につながる事業投資、人材投資にも 経営資源を配分しながら、株主還元の水準を決定
- ・継続的かつ安定的な配当を重視しつつも、長期的には徐々に配当金の増額を進める方針

株価向上に対する施策

■ 株主還元方針

中期経営計画2023～2025 方針

継続的かつ安定的な配当を実施

株主還元性向の中期的目標:30～40%

純資産配当率、経営環境等も踏まえ総合的に判断



中期経営計画2026～2028 方針

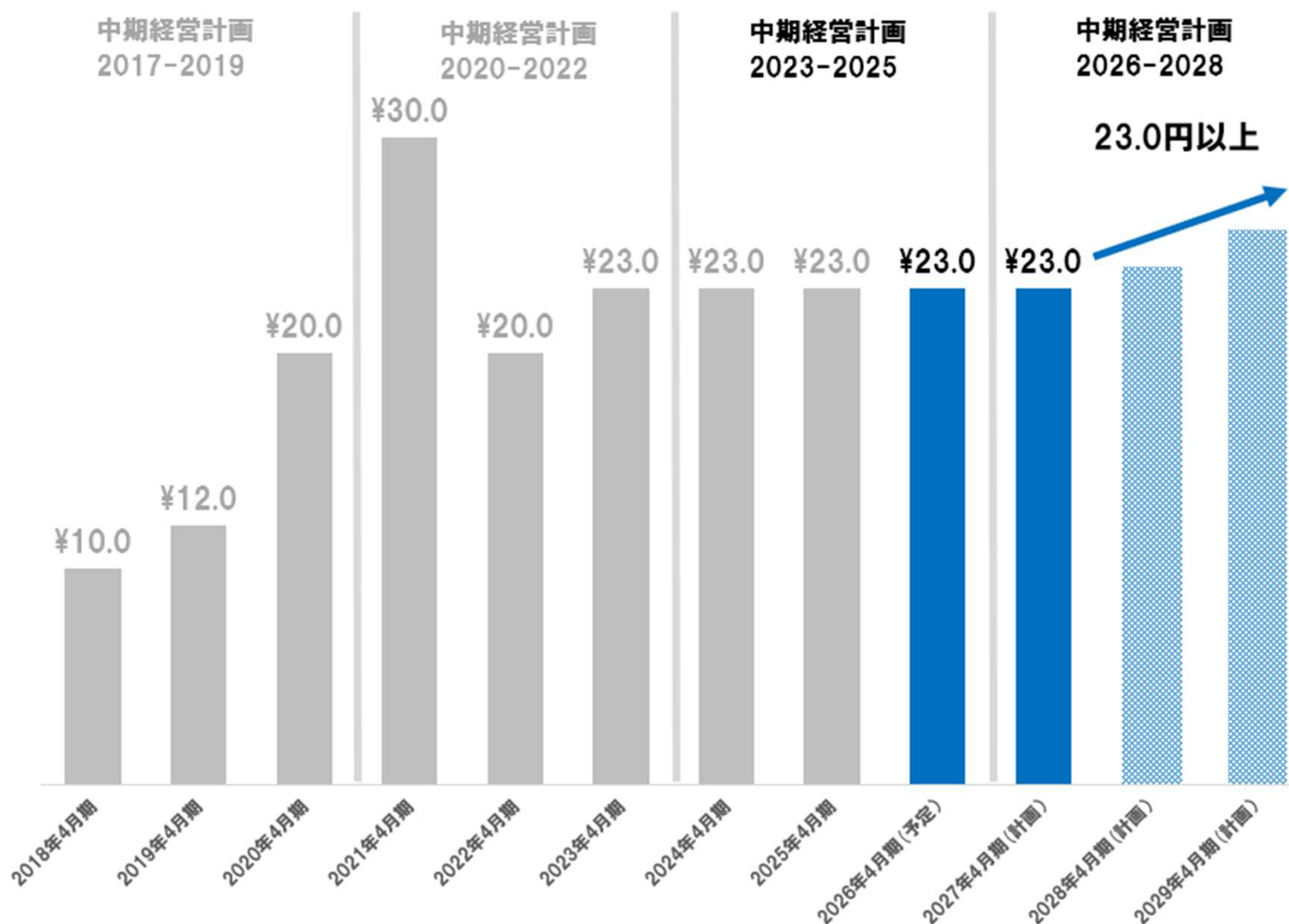
継続的かつ安定的な配当を実施

純資産配当率2.0%以上とし、経営環境等も踏まえて判断

1株当たり23.0円以上とする方針

株価向上に対する施策

■ 中期経営計画2026-2028 株主還元方針 1株当たり23.0円以上



中期経営計画2026～2028

■ サステナビリティ基本方針

当社グループは、コーポレートスローガン「地球のこと総て、その環境と安全に挑戦する。The Challenge for the Earth: “Environment & Safety”」に基づき、社会的課題の解決につながる商品の展開と、企業として果たすべき社会的責任の取り組みにより、SDGsを意識した経営を推進していきます。

1. 安全・防護システムで人と環境を守ります。
2. 健康・快適な生活の実現に貢献します。
3. アゼアス株式会社の特性を活かした社会貢献に取り組みます。
4. 社員一人ひとりの人権を尊重するとともに、社員の健康維持向上に努めます。
5. コーポレート・ガバナンス体制を強化して透明性、健全性を確保するとともに、効率化と環境変化に対応できる経営管理組織を構築します。



本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は一部を除き2026年4月30日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。



【問い合わせ先】

総務部

TEL:03-3865-1311

E-mail: ir@azearth.co.jp